

沖永良部地域公共交通計画  
パブリックコメントの意見内容および町の考え方について

1 意見募集期間 令和5年3月7日（火）～令和5年3月20日（月）

2 意見の件数 1名 3件

3 意見の内容と意見に対する町の考え方

	意見の内容	意見に対する町の考え方
1	<p>・夜間バスの運行 飲酒後に帰る場合は一般的に代行を利用するが、需要に対して供給が追いついていない印象がある。現在の運行は18時前後に終了するが、飲酒客に対応できる巡回バスは一定の需要があるのではないかと考えている。</p>	<p>夜間バスの運行には、ドライバーの労働時間や、交通事故のリスクなど、安全面の問題があります。また、夜間バスを運行するには、運行コストが高つくこともあります。そのため、夜間バスを運行する際には、需要と供給のバランスを考慮した上で、慎重に検討いたします。</p>
2	<p>・外国人住民への利用促進 外国人住民の中でも移動手段が雇用先から貸出される自転車などの場合が多い。とくに農業従事者は雨天時に休日になることが多く、スーパーへの異動でバスの利用が見込まれるが、周りの外国人の友人から「バスに乗りたいが情報がない」という声がある。潜在的なバス利用者層として、バスの乗り方講習会の実施、情報の多言語化または平易な日本語化、バスの行き先や質問などをまとめた指差しシート配布などの取り組みが欲しい。</p>	<p>外国人住民の公共交通の利用については対応が必要な課題と認識しております。モビリティマネジメントにおいて外国人を意識した内容になるように検討いたします。</p>

	意見の内容	意見に対する町の考え方
3	<p>・インターネット情報の整備や媒体間の連携計画書でウェブページの充実が施策として挙げられてはいるが、バスマップや時刻表などのPDFデータを公開するだけでは、スマホ上ではとても見づらく、かつ毎回ダウンロードしてしまうなどの手間が発生する。アプリ化とまで言わなくとも、スマホで見られるよう最適化してほしい。可能なら、出発地、目的地、時間帯などで検索機能があるとなお良い。また、両町の公式LINEからリンクを張るなど、公共の情報媒体の連携を図ってほしい。</p> <p>ただし、情報が得やすくなったとしても主な移動手段が自家用車である以上は需要がない。住民が怪我したときに案内できるよう医療機関から案内してもらうほか、バス利用の魅力化を図りインターネット上で発信してほしい。役場で転入直後の住民に対して案内することも効果的だと考える。</p>	<p>現在、沖永良部バス企業団HPにて出発地、目的地を入力することで時刻表が表示される機能がございますのでご利用いただければと思います。また、同HPにて令和4年度からバスロケーションシステムを導入しており、現在運行しているバスの現在地がわかりますので、そちらも併せてご利用ください。</p> <p>これらの機能は利用していただかないと意味がないので、両町LINE等、広く周知いたします。</p>